



No.374
2025年 4月14日

江東区労連 東 ニュース

江東区労働組合総連合
〒135-0011 江東区扇橋 1-12-20
江東教育会館内
TEL.03-5606-5285 Fax.03-3649-0131

25江東国民春闘 区内で昼デモ スト・集会展開

全印総連中央地区協議会と江東区労連は3月21日、木場公園で『25国民春闘勝利木場昼デモ』を行い、約50名が参加、アサガミプレスセンターまで昼休みデモを行いました。大幅賃上げを掲げる25春闘ですが、印刷職場はどこも厳しい状況です。大幅賃上げで働く者の暮らしと印刷産業を守ろうと通行人びとに訴えました。沿道からは『がんばれ』と声援も送られ、注目されたデモとなりました。

郵政ユニオンは3月18日に全国19の郵便局やゆうちょ銀行で55人がストライキに入りました。江東区労連加盟の郵政ユニオン新東京支部でもストに参加しました。江東区労連の代表も連帯あいさつしました。日本郵政の春闘の回答は若年層には若干手厚い配分をしたものの、ベースアップは5000円に抑制、職員の半数を占める非正規社員はゼロ回答です。参加者からは非正規社員の賃上げや大幅賃上げを求めています。



東部地域の労働者が決起集会



江東区労連からのお知らせ

■江東区労連労働相談員養成講座

- 日時…4月25日(金)19:00～
- 会場…江東区文化センター第3研修室
- 講師…尾林哲矢さん

(首都圏青年ユニオン委員長)

非正規の仲間を組織し、春闘の中ではストライキを掲げて闘っています。

■第96回中央メーデー

- 日時…5月 1日(木) 10:00開会
 - 会場…代々木公園サッカー場
 - デモ…代々木コース(11:20出発)
- 各組合から多くの仲間の参加を!

■江東区労連第35回定期大会

- 日時…5月25日(日) 12:30 受付
13:00開会～17:00
- 会場…東京土建江東支部会館大会議室
- 議題…24年度活動総括・決算・会計監査
25年度運動方針・予算・役員選出

東部地域の労働者が決起集会の模様を撮影し、右の写真を提供し、本紙に掲載いたします。

江東区労連も参加する東京地評東部ブロックは3月13日、春闘統一行動日に『2025年国民春闘勝利・東部地域決起集会』を墨田区曳舟文化センターで開催し7地域や JMITU・全労連全国一般などから60名が参加しました。集会では、全労連・国民春闘共闘委員会から久後副議長が「25国民春闘の情勢と課題・行動提起」と題して講演。いまこそ生活改善につながる大幅賃上げ、3年連続マイナス実質賃金を引き上げるしかないと言及しました。25春闘で展望を切り開く要求実現のチャンスは広がっていると「学び合い」を通じて仲間づくりをと呼びかけました。続いて6名の仲間が決意。江東からは、東大病院の電話交換手の仲間が組合を作り、委託会社のハラスメントの根絶と大幅賃上げを求めて交渉を継続していると話しました。

労基署・ハローワークなどへ要請 江東区労連青年部



亀戸労基署で要請書を手渡す松井青年部長 (25/3/18)

江東区労連青年部は3月18日、ハローワーク木場・亀戸労働基準監督署・東京都労働相談情報センター亀戸事務所との要請懇談を実地し、青年部役員など4名が参加しました。

ハローワーク木場では、田村管理部長ら3名が対応。参加した青年部員から「労働者が退職後に会社に離職票発行を求めても離職票発行がされないという相談が相次いでいる。労働者から離職票の職権発行依頼があった場合は早い段階で、職権発行を行ってほしい」と求めました。担当者は「雇用保険に関する業務取り扱い要領」では、事業主に離職票の発行を促すこととされている。ただ、画一的な取り扱いを行うのではなく、労働者のおかれている状況などを考慮しながら適切に対応したい」と述べました。

亀戸労基署では澤村副署長ら5名が対応。松井青年部長は「ここ数年、ハラスメントによって精神障害を発症し、労災申請を行うケースが増加している。また、申請しても労災決定までに1年を超えるケースが多く見られる。被災労働者の権利救済のために1日も早い労災決定をしてほしい」と求めました。それに対し、労災課の亀岡副署長は「1日でも早く労災決定ができるように引き続き努力していきたい」と述べました。

最後に東京都労働相談情報センター亀戸事務所では木寺所長ら3名が対応。この間の労働相談の特徴や若者が相談しやすい環境づくりについて懇談しました。



江東東税務署に向けてデモする仲間 (25/3/13)

『インボイスは廃止せよ』『消費税を5%に戻せ』などのシュプレヒコールが街に響きます。今年も重税反対江東区民集会在3月13日に開催され、7団体約100人が参加しました(集団申告含む)。この行動はかつて、税務署が個人事業主に横暴な税務調査に抗して、一斉に集団確定申告を行いました。1970年に始った行動は今年で56

回目になります。デモに先立ち、集会在江東区総合区民センターで開催され、主催者を代表して東京土建江東支部の富樫執行委員長があいさつしました。富樫さんは「長引く物価高騰で暮らしや営業はひっ迫している。政府の大軍拡予算と大企業優先、社会保障切り捨てを許さない」と述べました。江東生活と健康を守る会と江東区職労から決意表明があり、新婦人の石井さんから決議文が提案、全体の拍手で承認され、集団進行行進にうつりました。

デモは江東東税務署コースのみ行われ、亀戸文京公園まで力強くデモ行進を行いました。

★江東区労連は、対話と共同区内労組訪問行動(3月12日と26日)、青年部が国会見学&お花見交流を行っています。紙面の都合で次号に掲載します。

インボイス廃止 消費税は5%に

重税反対江東区民集会

トピックス

■第9次組織化宣伝行動

江東区労連は3月11日、区内2駅で2労組9人が参加してホットラインチラシ300部を配布しました。

■憲法9条を守る99の日宣伝行動

区民要求実現江東大運動実行委員会は3月19日、第234回9の日宣伝を2駅で2団体15名が参加、620部のチラシを配布しました。

労働相談の 窓口から

3月15日、東京地評第18回労働相談員・オルグ学習交流会が開催され、参加してきました。

る、しかも最低賃金近傍の低賃金で働かせ、有期契約で「能力不足・適正が合わない」等の理由で簡単に雇止めされる恐れが出ています。伊藤弁護士も障害者枠で雇用した労働者を農園で働かせることは「差別的取り扱い」に当たる可能性がある」と話していました。障害者雇用でのトラブルにどう対処していくか有意義のある講座となりました。

あらたな障害者雇用をめぐっての相談がありました。最近の労働相談を紹介します。

◆ **ハラスメント(東京地評 女性・正規)**
聴覚障害者の放課後デイサービスで働いていた児童指導員。自らも聴覚障害者で2年前に大卒で採用された。しかし同僚との関係が悪化して「適応障害」と診断。仕事に追われる中さらに悪化して最終的に退職した。現在、組合に加入して団体交渉を申し入れ中。

◆ **仕事外し(民主団体・男性・正規)**
機械加工の工具。勤続20年余。責任者が欠勤が多いために仕事が回らず、そのことを指摘したら、今度は仕事が回されず、3月下旬に業務改善指示書が出された。(対応)組合に加入して団体交渉を申し入れ中。

3月15日、東京地評第18回労働相談員・オルグ学習交流会が開催され、参加してきました。

テーマは「障害者雇用の現状と課題」と題して、自らも障害者を持ちながら弁護士活動している伊藤克之弁護士が講演しました。伊藤弁護士は最近の相談事例として障害者特性を理解しない使用者から、協調性でマイナスポイントをつけられ、上司からの指示で齟齬が出てトラブル、飲み会で失敗：退職勧奨される例を挙げながら話をすすめました。『合理的配慮』をめぐるのは特に発達障害の場合、外見で判断がつかない点などから問題となるケースが多いと指摘しました。

質問コーナーでも経験や質問が数多く出され、問題が深刻化している実態も。

江東区労連に寄せられている相談でも、「障害者枠雇用」で採用しながら、本来業務(例えばIT企業)をさせず、農園で野菜作りをさせ